

平成30年度「子ども大学くき」

高野 千春

「子ども大学」とは、地域の大学や企業・NPO、市町村、県が連携して、子どもの学ぶ力や生きる力を育むとともに、地域で地域の子どもを育てる仕組みを創るための取り組みである。ものごとの原理やしくみを追求する「はてな学」、地域を知り郷土を愛する心を育てる「ふるさと学」、自分を見つめ人生や将来について考える「生き方学」の3つの分野を基本に、大学教授や地域の専門家等が講師となり、子供の知的好奇心を刺激する講義や体験活動を行っている。

平成国際大学では、平成26年度より加須市内の小学生を対象とした「子ども大学かぞ」がスタートした。今年はさらに、久喜青年会議所、久喜市、埼玉県と連携した「子ども大学くき」も開講され、52名の小学生（4～6年生）が集まった。

第1回目の講義の目標は、「仲間の名前を覚えよう」「久喜市を自慢しよう」である。出来るだけ異なる学校、異なる学年で6～7人のグループを作り、ジャンケンや手遊びで少し緊張をほぐした後自己紹介ゲームで、グループの仲間をしっかりと覚えた。久喜といえは…で思い浮かぶものを挙げていく『ご当地ビンゴ』は、グループ全員が協力しないと進まず、うまくいけば全員がバンザ～イ、思うようにいかなければ惜しい～と声上がり、保護者も笑顔で見守っていた。『ま～え・うしろ』や『ヒューマンサッカー』では元気いっぱいに動き回った。

初めは見知らぬ仲間に緊張して口数も少なかった子ども達も、自然と笑顔で言葉を交わすようになり、後半はハイタッチも見られるようになった。



	日時	会場	講義内容 / 講師
1日目	9月2日(日) 9:50~11:45	鷺宮西コミュニティセンター (おおとり)	入学式 ○レクリエーション「子ども大学の仲間と仲良くなるよう」 ＜生き方学＞ 講師：平成国際大学 高野准教授
2日目	9月9日(日) 10:00~15:30	平成国際大学	○模擬裁判体験「実際に裁判にさんかしてみよう」 ＜はてな学・生き方学＞ 講師：平成国際大学 中島教授 ○キャンパス見学「1日大学生になってキャンパスめぐりをしよう」＜はてな学・生き方学＞ 担当：平成国際大学
3日目	9月30日(日) 10:00~16:00	鷺宮総合支所	○講義・実習「日本の心、和の心、たたみについて学ぼう」＜はてな学・ふるさと学＞ 講師：渡沼豊店二代目畳師 渡沼克己氏 修了式